

平成28年度
国有林モニターアンケート調査結果
(第1回)



平成28年8月

中部森林管理局

はじめに

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から国有林モニターを募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」としてふさわしい国有林野の管理を行うことを目的としています。

今回、第1回国有林モニターアンケートを実施し、国有林モニター36名中33名の方からご回答をいただきましたので、その結果について報告します。

◎ 国有林モニターの構成

(1) 性別構成

男	25人
女	11人
計	36人

(2) 年齢構成

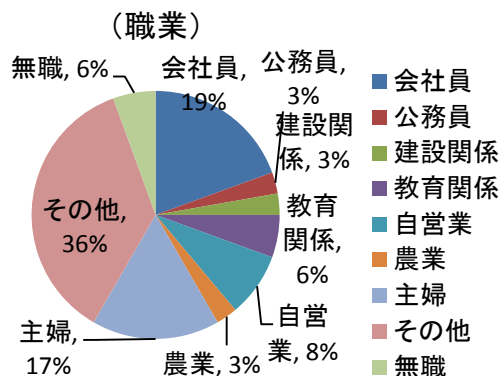
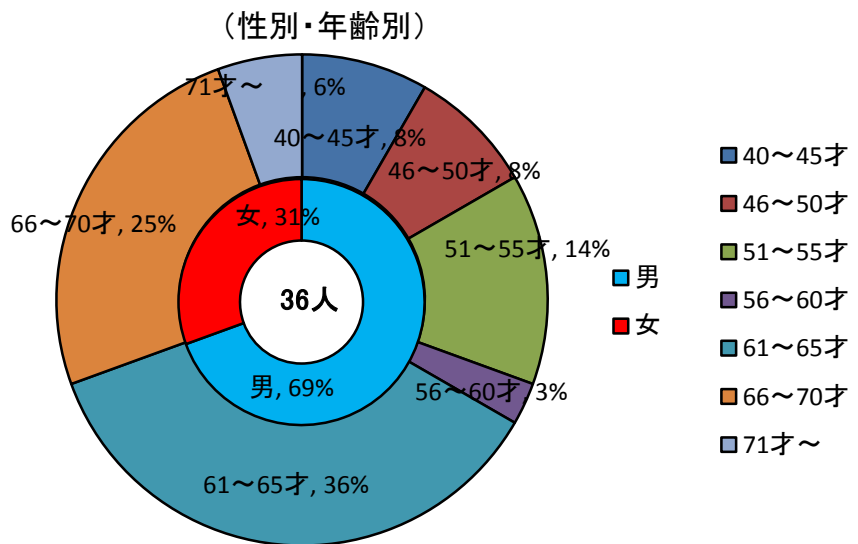
40～45才	3人
46～50才	3人
51～55才	5人
56～60才	1人
61～65才	13人
66～70才	9人
71才～	2人
計	36人

(3) 職業

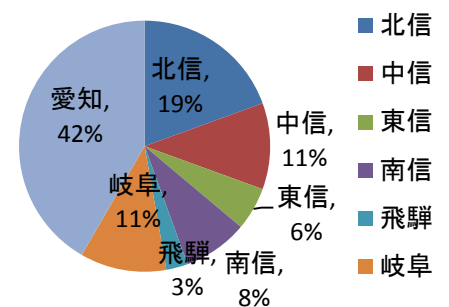
会社員	7人
公務員	1人
建設関係	1人
教育関係	2人
自営業	3人
農業	1人
主婦	6人
その他	13人
無職	2人
計	36人

(4) 森林管理署等別

北信	7人
中信	4人
東信	2人
南信	3人
飛騨	1人
岐阜	4人
愛知	15人
計	36人

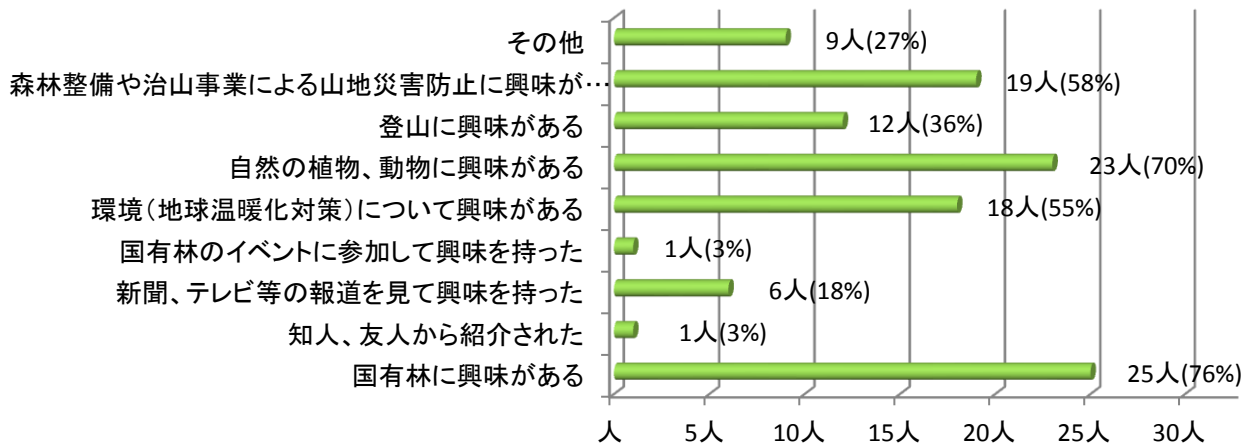


(住所の所在する森林管理署等)



1 国有林モニターへの応募のきっかけ等について

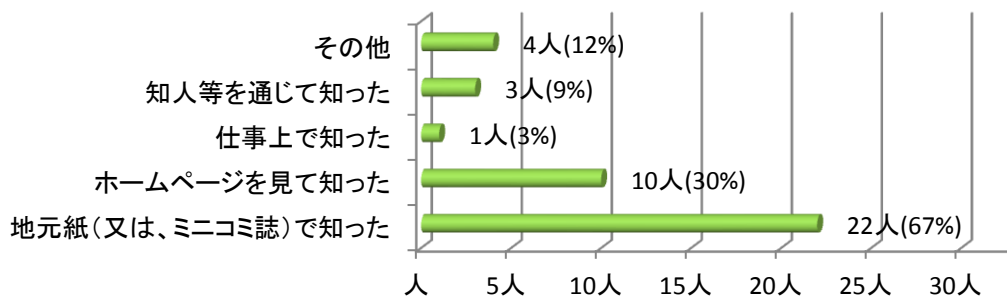
(1) 国有林モニターを応募されたきっかけについておたずねします。(複数回答可)



◎ その他(上記以外の応募のきっかけ)

- 国有林の管理状況を観たい。
- 環境審議委員を任ていること。河川愛護モニターを2期歴任したことから応募しようと思いました。
- 友人所有の山の簡単な維持管理(草刈り、孟宗竹、伐採)を行い興味を持ちました。
- 山林を保有しており、数年前森林組合の方に案内をしていただき、現地までの周辺の倒木、荒廃を見て早急な手当が必要と感じた。
- 実家が山の中にあり、ここ10年以上の山の様子がずっと気になっていました。日本の山の将来に関心があることがきっかけです。
- 水源としての森林が外国資本によって購入の動きがあるニュースを耳にして、国土の多くを占める山林・森林について国民として関心を持つべきと感じたから。
- 山の保護で日本の食文化の自給自足に興味を持つ。
- 中日新聞の折り込み誌にモニター募集の案内があったから。
- 国有林というもののおこと教えてもらえるかなと思っての今回の応募です。
- 以前に、八ヶ岳、金沢の国有林で下請けで仕事を何回か行って(林道、砂防堰堤)国有林には興味がありました。
- 児童文学の富山和子「森は生きている」を読んだこと。山で生計を立てている同級生が、今の現状を語ってくれたこと。

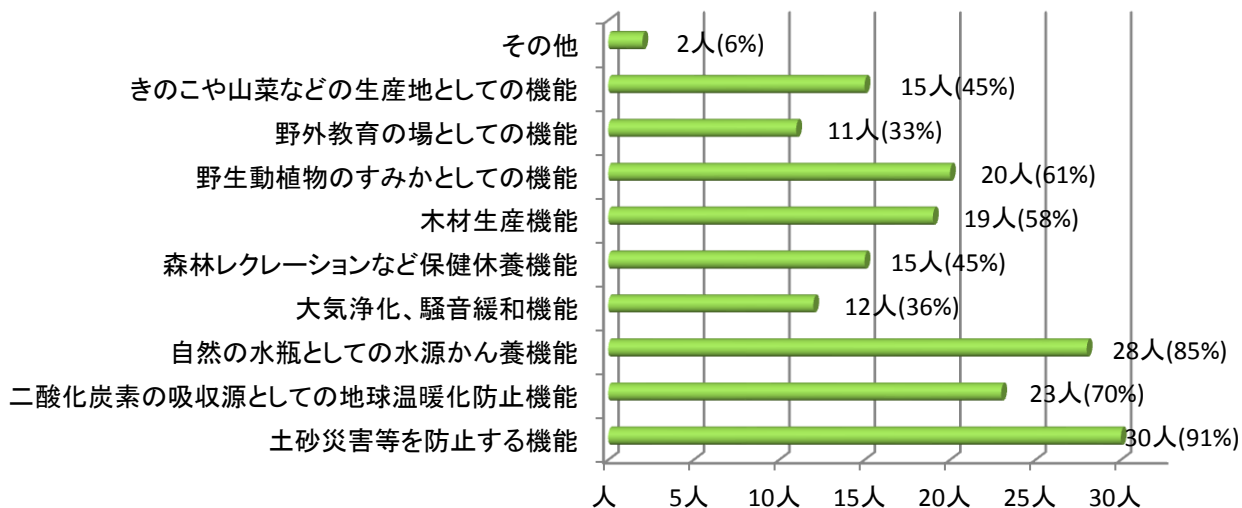
(2) 国有林モニターについてどのような方法でお知りになられたかおたずねします。(複数回答可)



◎ その他(上記以外の応募のきっかけ)

- 確か公募ガイドか懸賞ナビで。
- 長野日報でホームページを見て。

(3) あなたは森林にどのような機能を期待していますか。(複数回答可)



◎ その他(上記以外の機能について)

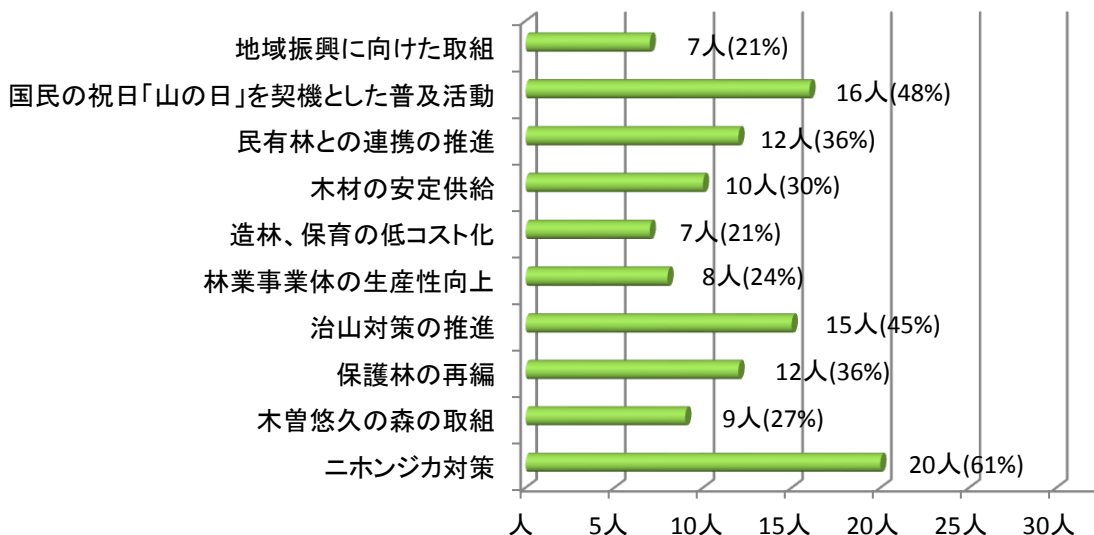
○人間の心理的癒やし機能。

○ふさわしく管理され、剪定され、木陰と下草とどんぐりのある放牧地。

○自分の住む八ヶ岳山麓にも官、民素晴らしい緑豊かな山があり、もうすでに伐期の木も多くあります。輸入材でなく地元の木を使う取り組みができないものか。

2 平成28年度事業概要について

(4) 関心のある取組がありましたら教えてください。(複数回答可)



(5) 問4で関心があるとした事案について理由を記入してください。(抽出)

① ニホンジカ対策

○シカが増え続け新芽を食べ尽くされたら森は育たないと思います。植樹した木はもちろん、笹まで食べていると聞きました。

○ニホンジカ以外、ニホンカモシカやサル、イノシシなどから貴重な高山植物や森林など保護が必要と思っている。

○登山中に樹皮を食べられ丸裸になってしまった木を何度も見えています。山野草を守るために網で境を作ってあったり、去年は咲き乱れてい花が今年は？と驚いたり。ニホンジカの被害は相当なものだと感じています。

○ニホンジカが中信西山・北アルプスの麓に進入しているとのこと。

○ニホンジカ対策として猟師による、猟師料理として供給を目指してもらいたい。

○ニホンジカの増加により林業、農業に重大な損失が発生している。林業、農業、畜産業等協力して効果的な対策が必要。

○植林した苗木などがニホンジカの被害にあうのでそのニホンジカを減らすために撃ち殺すのはちょっとかわいそうな気もしてならない。

○ニホンジカによる植物生態系の変化について危惧している。

② 木曾悠久の森の取組

○木曾のヒノキは名古屋城の資材として保護されていたが、明治以降、伐採が進み貴重な森林が失われつつあります。今後、伊勢神宮、名古屋城の木造化など保護が必要と考えています。

○木曾の木材に親しみがあるため。

○輸入のものもありますが、この日本の風土や気候にあった天然のものが好きだから。

③ 保護林の再編

○なるべく人間の手が入らない元々の森林環境に興味がある。

○本来そこにあるべき生態系の森を増やすべきであると強く思うから。

○数年前に保護林モニタリング調査に従事したことがある。4~5箇所だったが関心があり、他の所在状況等を知りたい。

○動植物の保護できる森林生態系の環境への取り組み。

○保護林による環境保全。実際に出かけて自然を満喫できたこと。

④ 治山対策の推進

○山の近くに住むものとして豪雨災害(山地崩壊、土石流等)の発生が危惧されるため。

○近年ゲリラ豪雨の発生により、土砂崩れが多くなっている。また、地震も気になる。

○集中豪雨などで山からの土石流がしばしば見られるのは山林が荒れていることも原因ではないのでしょうか。

○治山対策は林業、農業、漁業、都市の水資源等多岐にわたるので、省庁の枠を超えての調整が必要。

⑤ 林業事業体の生産性向上

○山奥の木の搬出の難しさを感じています。

○保有する森林の倒木、周りの山々の荒廃を見るたびに、美しい山々を早く取り戻したい。

⑥ 造林、保育の低コスト化

○「低コスト化」の現状を見たいと思って。

○昔の山林のようにきれいな山林の造林の推進をする。

⑦ 木材の安定供給

○資源(木材)の安定利用。

○自分の住むハケ岳山麓にも官、民素晴らしい緑豊かな山があり、もうすでに伐期の木も多くあります。輸入材でなく地元の木を使う取り組みができないものか。

○仕事上、木造建築物を扱うため、国産材の安定供給や円滑な流通化に興味がある。

⑧ 民有林との連携の推進

○国有林の健全化のみならず、民有林との連携による開発、保全により安心して安全な国土、海洋の保全がたもたれると思います。また、木材の切り出し、間伐材のコスト軽減に大規模な計画・施策を講じないと、子孫に悔いを残すと思います。

○民有林がどうなっていくのか気になっているので。

⑨ 国民の祝日「山の日」を契機とした普及活動

○国民の祝日として8月11日に上高地において「山の日」記念全国大会が開催され、山に親しみ感謝する日となったことに大いに関心がある。

○「山の日」を多くの人に知っていただき、山に親しんでほしいと思います。

○海の日があるのだから山の日をもっとPRしていくことはとても大切なことと考えます。また山の活動や手入れのボランティア等で休日を取得する場合、年休ではなく第3の休暇が取れるような仕組みができることもPRに一役買うのではないかと考える。

○国民の祝日「山の日」のポスターやテレビ等でPRし、もっと身近に感じてほしい。

○森林に親しみたいのですが、私の住んでいる近隣には、森林がないため、関心があります。

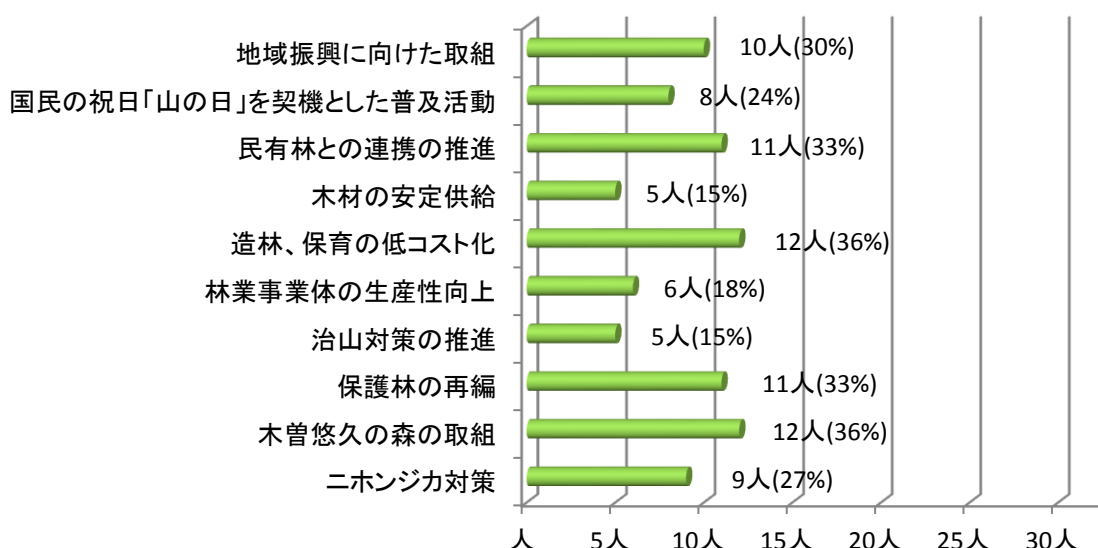
⑩ 地域振興に向けた取組

○実際に足を運べる(できれば家族、子供連れで)イベント等の情報収集として興味がある。

○実際にそこに住んでいる人の関心と街との意識のギャップが大きいように思えるので。

○山林地域の情報発信と振興に取り組みたい。

(6) 問4の国有林で取り組んでいる事業について知らない事業がありましたら教えてください。(複数回答可)



(7) 問4以外に国有林で実施したら良いと思われる事業等、ご覧いただいた事業概要で改善すべき点、感想など記入してください。(抽出)

○林業事業のひとつかもしれませんが、今、薪ストーブがはやっているので森林での薪づくり講習会のようなレジャーと森林の整備等への取り組み活動をして興味を持ってもらう。

○私たちが生活していく上で欠かせない「水」は、豊かな森があるからこそである。水源を守ることは命を守ることであるということを忘れがちである。山に生きるもの、里に生きるもの、そして都市に生きるものに、山(森)が水源かん養機能を持っているということを伝える事業があれば良いと思う。

○国有林の知恵・技術など先進的なノウハウを公有林・民有林に役立ててほしい。粗放林の現況を理解してほしい。

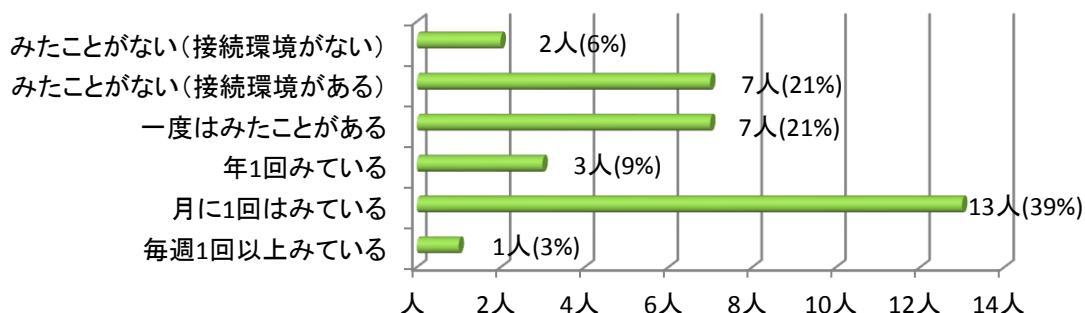
○水の安定供給には欠かせない山林をどう保守していくか、地域との連携も強化しながら国有林森の学校や植林事業の1口地主などの取り組みといったアイデアを今後も押し進めていく。

○木材の活用の拡大。(燃料:火力発電からストーブまで。建築資材。割り箸:大半は中国よりの輸入に頼っている。)少し割高でも安心、安全、国産材の活用の意味を周知徹底すれば理解が進むはず。

○環境、水資源等は国有林、私有林等によって支えられている。広報活動等により森林税等の負担を目

3 中部森林管理局のホームページ等について

(8) 中部森林管理局のホームページをご覧になったことはありますか。



(9) インターネットの接続回線をお持ちで中部森林管理局のホームページをご覧いただける方で、お気づきの改善すべき点、感想があればご記入してください。(抽出)

○フォトレポートギャラリー活用をする。四季折々の山の写真をホームページのトップ(上段に大きく)に掲載し、森林の素晴らしさを知ってもらえるよう活用すれば良いと思う。(素晴らしい写真の活用)

○教材に使えるものをピックアップしながら楽しんでいます。

○古い資料が多く、現在に至るに苦勞する。日頃利用しないから目的とするものを引き出すのに時間を要する。

○素人にも分かりやすい上出来です。

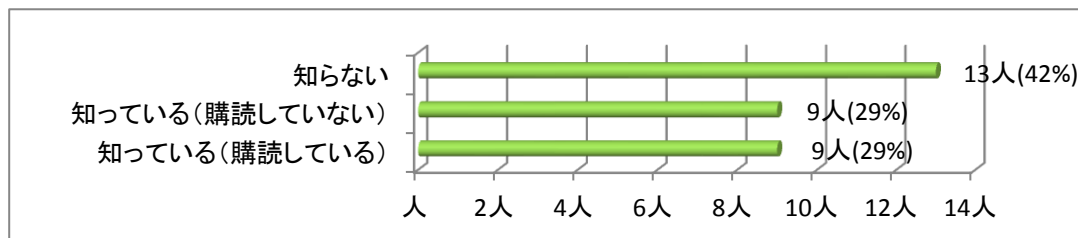
○いろいろな情報があつて楽しかった。

○学校現場の調べ学習で、木や森林についてPCで調べる機会が増えています。小学生向けのページを作っていただくとアクセス数がUPしますよ。ポイントは①小学生向け平易な言葉、大きな文字で文字数は少なく、②国語や社会の教科書の内容とつなげて統計資料を提示する。③今日の森林事業の問題点と今後の見通しを(池上彰氏の解説のように)わかりやすく示す。

○山地災害危険箇所の詳しい位置図が見れない。近くにある国有林を探したかったがよくわからなかった。

○内容が固い。

(10) 中部森林管理局のメールマガジンを知っていますか。



(11) インターネットの接続回線をお持ちで中部森林管理局メールマガジンをご覧いただける方には、お気づきの改善すべき点、感想を記入してください。インターネットの接続回線をお持ちでない方は、同封のバックナンバーを参照して、記入してください。

○今月のフォトレポートギャラリーコーナーを作り、メールマガジンからリンクできるようにすれば良いと思う。(素晴らしい写真を見られるようにリンクを張る。)

○山火事予防の所は、職場が山々に囲まれていることから大変参考になります。

○森林管理局からのメッセージで、北信五岳を紹介していますが、その写真とか五岳の位置関係の図があるとよくわかると思います。

(12) その他、「国有林」及び「国有林野の管理経営」などについて意見、要望を記入してください。(抽出)

○国有林のさまざまな事業により、維持管理されている事が広報「中部の森」等によりよく分かりました。今まで知らなかった森林管理局の皆様のお仕事等大変地味な仕事ではありますが、未来に森林、国土につながる大事なことが分かり大変うれしく思います。

○長野県は全世帯に森林税を徴収し民有林の整備に活用している。しかし、豊かな水の恵みを受けている公営企業としての上水道事業、民間企業では、ペットボトルや缶飲料の販売、そして海外へ貴重な水を輸出している。豊かな森で生まれた水が、原料代0円で業として営まれている。これらの企業から税として徴収し、森林整備の財源とすれば良いと思う。

○「国有林」及び「国有林野の管理経営」などの知識を得たい。広報誌はなぜ右とじか？配布資料等は左とじなのに。

○ボランティアで間伐ができるように、講習会、保険の整備をしてほしい。

○一般会計に移行したメリット、デメリット。森林経営者が先細りする傾向への対策。輸入材から国産材への販売促進策。

○民地の森や山々が外資系の方々によって購入されている事実を聴くと心配になります。せめて国有林は国民一人一人の手で守っていききたいものです。

○国有林の組織事業に一個人としてどのように参加できるか知りたいと思うし、また、そういう機会が色々あれば良いと思う。名古屋市内のような都市部にいると普段は森林に関わる機会がほとんどない。そういう人たちへのPR方法をもっと考えてみてはどうか。

○第88号にて、松井署長説で、カラマツの紹介がありましたが、保有する山にも比較的大きなカラマツがありますが、スギ、ヒノキと比べると、市場価格は大幅な安価であり、価格は高い？との説がありますが、国有林で人工林の80%以上がカラマツとのこと。少し疑問を感じましたが。

○国有林、民有林それぞれに変更されることはあるのでしょうか？また、あるとしたらそれは、どのような条件の時でしょうか？今後、ドローンを使って上空からの確認をとる。そういう機会は増えていくのではないかと思うのですが、実際の所どうでしょうか。成果、予算やリスクの面で、まとめているサイト等ありますか。

○国有林の現状を実際に見てみたい。(現場)

○健全な国有林や民有林が環境・国土の保全や利水・治水に役立つ仕組みを分かりやすく広報できれば良いと思います。たとえば、砂防ダム、専用林道の整備、モニターにも使える登山道の整備等。

○森林等は友人の維持管理する個人所有の山に触れてから興味心身となり、高年齢ではありますが勉強したいと思います。

○人工林、里山、奥山の分けをして、人工林、里山はきちんと管理する。手入れが出来ない人工林、里山は奥山の状態に戻すべきと思う。

○「国有林」は誰にでもなじみのある存在だが具体的な管理内容については知らない人も多いと思うので、いろいろな広報活動を通じてPRをもっとした方が良いと思う。

○国民に興味関心をもってもらうための、広報戦略が必要だと思います。「さかなクン」のような子供にも親しみやすい広告塔、池上彰氏のように分かりやすさで、森林の素晴らしさ、問題点など、啓もうし、次世代につなげていく必要があると思います。

○この機会にゲートの中に入れてもらえるのかなと楽しみにしています。

○今まで何気なく見たり聞いたりしていましたが、取り組んでいることの多さに驚いております。これからはメールマガジンを見て勉強したいと思いました。

○治山ダム、大小砂防堰堤を作るには仮設道路等による災害が出、また、費用もかかると思う。山を切り開く事による災害を無くすことを考えてみたらと思う。

まとめ

○ 国有林モニターの構成状況について

①参加者を地域別に見ると、長野県44%、岐阜県14%、愛知県42%となっています。

②性別では、男性69%、女性31%とやや男性が多くなっています。

③年齢別では、40～78才と幅広く参加していただいております。61～65才36%と一番多く、次いで66～70才25%、51～55才14%の順となっています。

1 国有林モニターへの応募のきっかけ等について

①国有林モニターを応募されたきっかけについてたずねたところ、25人(76%)の方が「国有林に興味がある」と回答されています。

②森林にどのような機能を期待するかとたずねたところ、30人(91%)の方が「土砂災害等を防止する機能」、次いで、28人(85%)の方が「自然の水瓶としての水源かん養機能」と回答しています。

2 平成28年度事業概要について

①関心のある取組についてたずねたところ、20人(61%)の方が「ニホンジカの被害対策」、次いで、16人(48%)の方が「国民の祝日「山の日」を契機とした普及活動」、15人(45%)の方が「治山対策の推進」と回答しています。

②国有林が行っている事業で知らない事業についてたずねたところ、12人(36%)の方が「木曾悠久の森の取組」「造林、保育の低コスト化」、次いで、11人(33%)の方が「保護林の再編」「民有林との連携の推進」と回答されています。

3 ホームページの閲覧状況について

①「見たことがある」と答えた方が24人(72%)、インターネット接続の環境はあるが「見たことがない」と答えた方が7人(21%)いました。

②メールマガジンについては、13人(39%)の方が「知らない」と回答されています。

今回のアンケートを通じて、近年被害が深刻化している「ニホンジカの被害対策」や、豪雨等による山地災害への「治山対策」についての期待が高いことがわかりました。一方、情報発信の方法などPRの面で、「足りない」、「分かりづらい」と言った意見も寄せられました。今後、ホームページや「山の日」などのイベントの機会を通じ、よりわかりやすく広報していくとともに、寄せられました意見を元に国有林野事業をよりよいものとしていけるよう努力してまいります。